科学研究費補助金成果報告シンポジウム

# 「六朝隋唐時代をめぐる仏教社会の基層構造」

科学研究費補助金「六朝隋唐時代をめぐる仏教社会基層構造の解明と仏教石刻資料データベースの構築」（基盤研究Ｂ　代表者：氣賀澤保規、2010－2012 年度）が最終年度を迎えます。つきましては下記の如く中間報告会を開催いたします。関心のある方のご出席を歓迎いたします。

## 日時　2013 年 1 月 13 日（日）　10 時～17 時

## 場所　明治大学駿河台キャンパス研究棟 4 階　第 1 会議室

（JR お茶の水駅・地下鉄神保町駅より徒歩 5 分）　　総合司会：梶山智史（明治大学）

## 第 1 部　10 時～12 時　華北各地の仏教と石刻文物の調査報告

開会挨拶・趣旨説明　　氣賀澤 保規（明治大学）

江川 式部（明治大学）：河北・山西の仏教遺跡と石刻文物の調査報告

手島 一真（立正大学）：河南・浙江の仏教石刻調査報告

櫻井 智美（明治大学）：中国における蒙元時代（モンゴル時代）石刻研究の最前線

12 時～13 時　昼食休憩

## 第 2 部　13 時～15 時　研究報告

高瀬 奈津子（札幌大学）：唐代における潞州の位置―長治県梵境寺舎利銘をめぐって―

肥田 路美（早稲田大学）：四川地域唐代石窟摩崖の銘文について

松浦 典弘（大谷大学）：山西省の唐代の寺碑――山西現地調査の報告を兼ねて

15 時～15 時 15 分　休憩

## 第 3 部　15 時 15 分～17 時　研究報告・自由討論

高橋 継男（東洋大学）：「中国石刻関係図書目録」その後の最新資料状況

氣賀澤 保規（明治大学）：「大般若経」刻経から見た房山石経事業の展開

主催　日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究Ｂ　代表者：氣賀澤保規）

共催　明治大学東アジア石刻文物研究所　　電話：03－3296－4491　email：ishiken@kisc.meiji.ac.jp
連絡先：〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1　明治大学東アジア石刻文物研究所
HP：http://www.kisc.meiji.ac.jp/~ishiken/introduction/index.html（研究所）
http://sekkokuken.mind.meiji.ac.jp/（中国石刻文物研究会）